





発刊にあたって

「エクシスランドデザインコンテスト2020」に多数 のご応募いただき、誠にありがとうございました。ま た、受賞された皆さまおめでとうございます。

当コンテストも、2007年にスタートして以来、14回 目を迎えることができました。

これも設計・施工に携わる多くの皆さまのおかげだと心より感謝しております。

今回は、1231作品のご応募をいただき、厳正な審査を経て21作品が受賞されました。

この冊子では今回の受賞作品を、審査員である 古橋宜昌氏の講評とともにご紹介させていただき ます。数々の施工コンクールの審査をされてきた 審査員ならではの受賞ポイント・解説は、皆様の今 後のエクステリアデザインにきっとお役立ていただ けるのではないかと思います。

また次回のエクシスランドデザインコンテストへのたくさんのご応募をお待ちしております。

募集から結果発表まで

募集期間

2020年 3月 2日**日** ~ 6月30日**②**

チラシ、WEB サイトにて 作品の募集を行いました。 1231 点の応募をいただきました。



審査

2020年8月26日 🕏

厳正なる審査を行い、 各部門の賞が決定しました。



結果発表

2020年10月

ホームページ・業界誌にて 受賞作品を発表しました。

古橋宜昌

1958年4月6日生まれ 東京電機大学理工学部建設工学科卒業

- 一級建築士
- 一級造園施工管理技士
- 一級土木施工管理技士

有限会社エクスプランニング 代表取締役 エクステリア&ガーデンアカデミー 校長 一般社団法人 日本エクステリア設計協会 会長



大手ハウスメーカーのエクステリア部門を経て、1997年に日本では珍しいエクステリアとガーデンの設計業務を請け負う会社「エクスプランニング」を設立。設計業務の傍らエクステリア業界のために、エクステリア専門学校校長、各種エクステリア関連セミナーの講師、様々なメーカー主催のデザインコンテストの審査員として幅広く活躍する。2014年に設立された、「日本エクステリア設計協会」の会長も勤め、エクステリア設計者の地位向上の為の活動にも寄与している。



アプローチ·門まわり・ 車庫まわりに 使用した作品



テラス・庭まわりに 使用した作品



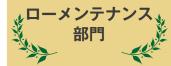
新商品を使用した作品



EXISLANDの 木製品を使用した作品



素材の使い方が工夫された作品



庭の管理を省略化し、 庭での生活が 長く楽しめる作品



ライティングで 夜のエクステリアを 演出した作品



素敵にリフォーム された作品



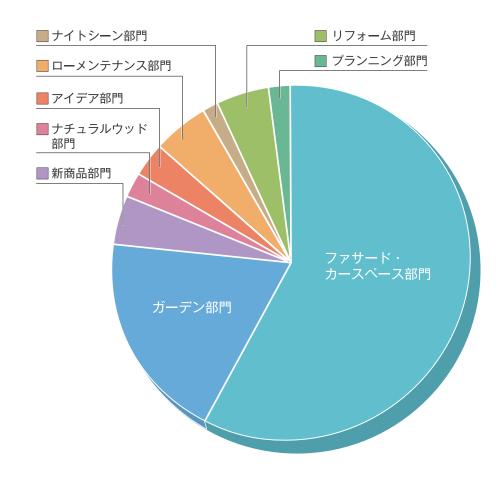
実物件での プランニング

今回は1231作品のご応募をいただきました。 そして、数多く寄せられた作品の中から、 合計21作品が受賞しました。

■ 応募・入賞数のご紹介

	各部門応募数	最優秀賞	金賞	銀賞
ファサード・ カースペース部門	715		1	1
ガーデン部門	238		1	1
新商品部門	55		1	1
ナチュラルウッド部門	27		1	1
アイデア部門	38	1	1	1
ローメンテナンス部門	60		1	1
ナイトシーン部門	19		1	2
リフォーム部門	56		1	2
プランニング部門	23		1	1
合 計	1231	1	9	11

■ 部門別応募作品割合



応募作品数 1231 点

最優秀賞 🍑















審査員コメント

海を望む別荘の事例です。ファサードは周囲の景観に溶け込むよう、床材には「アンティークストーン」を使い、気品のある雰囲気に仕上げられています。 一方、ガーデンは出幅違いの広々としたテラスを配し、単調にならないようタイルとデッキ材でエリアを分け、バーベキューエリアの床だけを下げて、まわりに腰かけられる提案が、見た目だけではなく実用的なプランになっています。まさに、大賞にふさわしい事例となっています。

ファサード・カースペース部門金賞 🍑



審査員コメント

オープンスタイルが多い最近のエクステリアの中で、門扉と存在感のある袖壁を配置したセミクローズドプランの良い事例です。道路と設計G.Lの高低差を自然石の土留めで抑え、低木と高木でファサードに豊かな緑量を確保しています。宅配ボックスとポストに合わせた表札の「レイ」が良いアクセントとなっています。

ファサード・カースペース部門 銀賞







審査員コメント

二台分の駐車場と来客用の駐車場をL型にレイアウトし、その中間にアプローチが計画されています。門扉を道路に対して直角に配置することで、門扉の存在感をやわらげ、奥行き感のあるプランになっています。予備の駐車場からアプローチまわりにかけて、床は緑化できる仕上げとなっていますが、歩きやすさを考えて組み合わせた「敷石 バサルト」が、とても良いアクセントになっています。

ガーデン部門 金賞











審査員コメント

室内から見てあまり奥行きのないガーデンスペースですが、道路境界際に設置したフェンス「Eウッド スタイル」が庭の良い背景となり、手前の植栽が鮮やかに見えます。

植栽スペースの縁取りとして積まれたピンコロ石も落ち着いた色で計画され、フェンスとのバランスが きれいです。円の一部をモチーフとして計画された鉄平石も庭の雰囲気によく馴染んでいます。







ガーデン部門 銀賞





審査員コメント

四方から眺められる坪庭の事例です。G.Lを室内の床の高さ近くまで上げることで室内と庭の一体感 が感じられます。中央に「流れ」を設けることで、風景の一部として魅せながら、野鳥も呼び込める良 い提案になっています。外部からの視線を気にせず、光と風を取り込むことができる、まさに坪庭のお 手本といえる作品になっています。

新商品部門 金賞 🦫









審査員コメント

道路からの視線を考慮し、やや高めの壁で囲まれた作品です。

明るい色の塗り壁のアクセントとして組み合わせられた「レオン ブラックスレート」が効果的に使われています。ポストがある中央の壁はすべてスレート貼りとし、その左右の壁は対称的に、スレートをアクセントとして組み合わせており、とても美しいバランスになっています。





新商品部門 銀賞



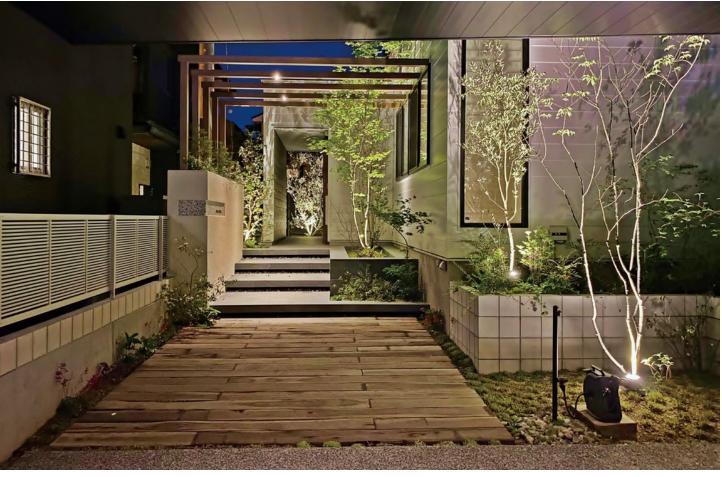
審査員コメント

新商品の「敷石 バサルト」をアプローチの素材として用いた事例です。

バサルトの特徴である厚みと小口の叩き仕上げを最大限に利用した浮遊感のあるアプローチとなっており、ナチュラルテイストに仕上がっています。特に、中間3段の階段を斜めにレイアウトすることで空間にリズムと広がりが感じられます。

ナチュラルウッド部門 金賞 🎑







駐車場から眺める玄関までのアプローチ空間がとても美しい作品になっています。ナチュラル感を出す ために、床に用いられた「新品枕木 ブラッドウッド」と、浮遊感のある「エレガンテ ラーゴ」を張っ た階段、その横の花壇の立ち上がり、そして左右に設けた植栽スペースが落ち着いた空間を演出してい ます。隣地側に設けた袖壁の上部に植栽を組み合わせ、そこから立ち上がる5連のアーチが空間の美し さを際立てています。玄関ポーチ奥の植栽をライトアップする演出も見事です。













ナチュラルウッド部門 銀賞



審査員コメント

敷地の高低差を利用したウッドデッキの事例です。まず室内と同じ高さで広がるウッドデッキスペースと、そこから降りる階段をL型に配置し、中間に広い踊り場を設けることで、スキップフロアのような演出がなされています。ウッドデッキの下は薪の収納スペースにもなっていて、とても機能的です。 周囲の景観にも溶け込む素晴らしいウリンの事例となっています。

アイデア部門 金賞 🎉



審査員コメント

道路側からの視線を遮りつつ、風通しを確保するため設置されたEフェンスの事例です。下の部分は「Eシェルド」を用い、その上部に「Eウッドスタイル」を使って高さを確保している点が良いアイデアです。縦ラインと横ラインの組み合わせは、一見難しいものですが、同じ材料を使うことでとてもきれいにまとまっています。



アイデア部門 銀賞 🏩









審査員コメント

お客様が板金の職人様で、その伝統工法である菱葺きを門袖壁に取り入れた事例です。その板金と全く 異なる石材を組み合わせることで生まれるオリジナリティの高いアクセントウォールとなっています。 個性のある袖壁を際立たせるため、アプローチの床材などは落ち着いた印象を与える「レオン ブラック スレート」の敷材でコーディネートされています。

ローメンテナンス部門金賞









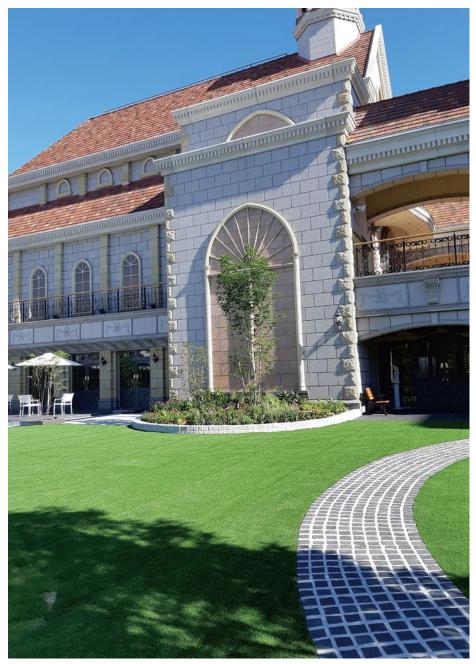


審査員コメント

お寺の入り口とは、全く感じさせないファサードの提案です。

掃除が楽なように床は洗い出しと御影の敷石、目地には人工芝と砂利を用い、

上手くデザインされています。植栽も建物まわりにコンパクトに納め、手入れがしやすいように工夫されています。 背景の焦げ茶色の縦格子がお寺の雰囲気にもよく馴染んでいます。



ローメンテナンス部門 銀賞









審査員コメント

広いガーデンスペースがある結婚式場の事例です。

メンテナンスを考え、人工芝で作られたガーデンは、四季を通して写真映えがする ので、このような空間に使われることをお勧めします。

曲線を描いて設けられたピンコロのアプローチや建物際の花壇スペースも良いアク セントになっています。

ナイトシーン部門 金賞









審査員コメント

シンプルな白い大壁とニュースタックを貼った凹凸のある袖壁を照明によってきれいに浮かび上がらせています。 高木に対するスポットライトも組み合わせて、立体感のある表情を演出しています。アプローチの床に用いられた「オーシャンストーン」と壁に貼られた「アースグレー 天端4面割肌」も馴染みのよい組み合わせとなっています。

ナイトシーン部門 銀賞 🥯







審査員コメント

小さなお庭ですが、盛り土により G. Lを室内の床とほぼ同じ高さに上げることで、段差を感じない内と外が一体となった作品になっています。 タイル貼りの床も出幅に凹凸をつけ、空間に変化を与えています。

夜は背景が闇となるので、植物をライトアップすることで、ドラマチックな表情に仕上がっています。

ナイトシーン部門 銀賞





宮島にある宿泊施設の事例です。海外からのお客様も意識して日本の伝統的な素材を巧みに組み合わせて作られています。落ち着いた色で統一されたデッキテラスやファニチャーで、高級感が感じられます。アプローチの床に用いた有田焼の「磁芸釉遊ブリック」や井戸のしつらえ、「AKARI」による演出など、ゲストをおもてなしする工夫も満載です。

夜の照明も石積みや植物をメインに照らすことで、品のある雰囲気になっています。







リフォーム部門 金賞











審査員コメント

元々は芝生と高木が1本あるだけのガーデンのリフォーム事例です。室内との段差も大きく庭への出入りがしづらい状況でした。また、南側に大きな建物もあり、ガーデンのほとんどが日陰になっていました。それをリフォームにより室内と同じ高さでタイル貼りのテラスを設け、そこに独立のオーニングを組み合わせ、さらにその周囲に高木を植え込むことで、日常使いができるおしゃれなガーデンへと大きく変わりました。まさにガーデンリフォームの良い事例と言えます。

リフォーム部門 銀賞











審査員コメント

今までの庭はどこにでもあるものでしたが、リフォームにより見違えるようなおしゃれな庭に変わりました。 まずは、隣地境界に目隠しを兼ねたブロックとフェンスを設け、一直線に庭を通り抜けできる木製の通路が、 見た目だけではなく、歩いても楽しいデザインになっています。この通路は緩やかに傾斜をしており、車椅 子での利用も想定していると思われます。玄関脇に新たに設けられた袖壁も個性的であり、その先の掃き出 し窓をさりげなく隠す効果も期待できます。

建物が新しくはないので、自然に庭を馴染ませる工夫が随所に感じられます。

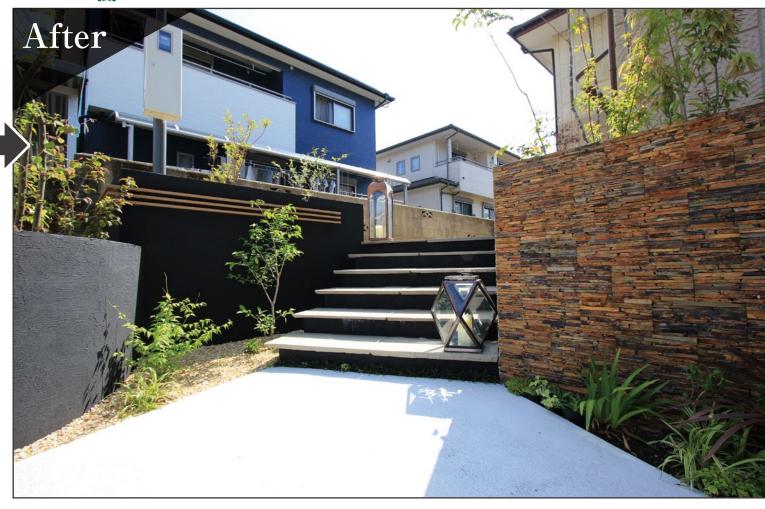
リフォーム部門 銀賞 🧐











審査員コメント

エクステリアのリフォームにより建物の印象が大きく変わる良い事例になっています。道路と敷地の高低差 があり、階段を数段設置しなくてはいけない条件ですが、美しい土留めと、ゆとりのある階段の造作により、 逆に高低差を活かしたきれいなプランに仕上がっています。壁や床の素材、ランプシェードなど設計者のセ ンスとこだわりが随所に感じられます。

プランニング部門 金賞



エクステリアプランにおける設計条件

KEY WORD: 新築外構

Architecture Elment: 某ハイクラス住宅メーカー

EX-STYLE: クローズスタイル

DESIGN-STYLE: ラグジュアリー/モダン COLOR CHOICE: アースカラー/ブラック

PLANTING: 涼しげな高木 メンテがイージーな常緑低木

REQEST SOUCE: 乗用車4台分 カーボートは最低2台分 高級感のあるクローズ外構

88888計画

FAMILY STRUCTURE: 4人家族 夫·妻·長男(大学生)·次男(大学生)

EX ZONING-1

敷地条件と建築配置

東南側接道で高低差は+200の敷地

東様のご南親のお隣の土地が空いた だめ、購入、建築に至った。細長い 土地であり接道長さが短い、また主 要幹線道路に面しており車通りも多 いため、敷地内での車の転回が必要 である。シャッターゲートをご要望 されており、現在所有されている車 は4台あり、敷地は広いが、門周、 駐車場、アプローチとそれぞれのス ベース確保が望まれた。



EX ZONING-2

主要なエクステリア配置計画

まずは、駐車スパースの確保を行う。 お持ちの車4台それぞれが、他の 3台が止まっていたとしても、自 由に出入りできるよう配置する。 また車が止まっていてもアプローチが 違られることのないように、アプロー

違られることのないように、パリー すの配置を計画する。 長いアプローナとなるが、退起にならないように、アプローナの目線の先に アイストップを設けるよう工夫を



EX ZONING-3

植栽計画による内と外

ある程度のゾーニングで配置計 国と動線計画が決定されたのち 、植栽を計画する。駐車スゲース とアプローチが優先ではあるが、余 白スペースに植栽を配置する。 門罪、シャッタードートと植栽で区切られるパプリックとミドルプライペート 空間、さらに、植栽でキドルプライ ベートとプライベート空間を区切る。



EX ZONING-4

植栽計画 門扉、シャッターゲートを娘 とした、パプリックスペー スとプライベートスペースで

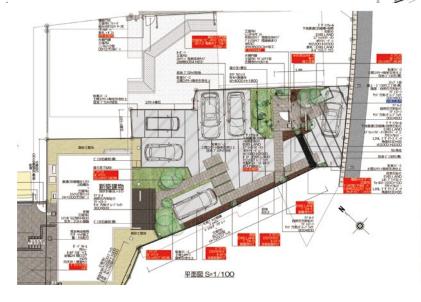




審査員コメント

ゾーニングは、5つのカテゴリーに分け、エクステリアエリア計画、植 栽計画、導線計画などきめ細かく計画されています。駐車場の台数も多く、 敷地もかなり変形していてエクステリアのプランニングも非常に難しい 事例ではありますが、重厚感のあるファサードのデザインと、しっかり とした植栽計画により、プランの質もとても高い内容になっています。

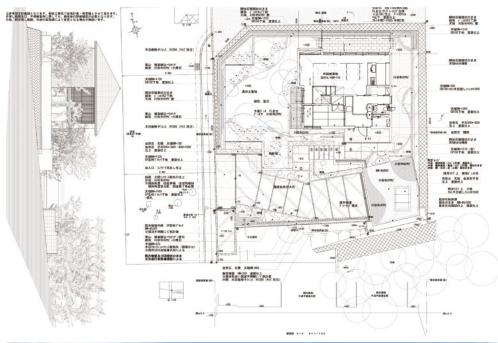






プランニング部門 銀賞











審査員コメント

道路勾配がきつく、なおかつ、堀り込まれたRCの半地下駐車場というプランニングのとても難しい事例ですが、それを感じさせないきれいな計画がなされています。図面もとても緻密で、丁寧に作られていて、設計精度の高さが感じられます。間知ブロックからセットバックさせて設けられたシンプルな塗り壁が、庭に植えられた高木をより際立たせる効果を醸し出しています。

デザインコンテスト受賞のポイント

その1 【見せたいポイントに合わせてアングルを工夫】

作品によってローアングルで撮った方が良い作品と、ハイアングルで撮った 方が良い作品があります。特に床のデザインにポイントがある場合は上か ら、被写体に迫力を出したい場合は下から撮影すると、それだけでも印象が 変わってきます。







その2 夜のシーンは少し明るいうちから撮影

夜の写真は、思ったよりも暗く写ってしまうので、建物の外壁や床の仕上げ が見えるくらいの早い時間(夕暮れ時)から数分おきに撮影しましょう。 ただし、その時間だと自動点灯装置が付いているガーデンライトは点灯して いませんので、センサーの部分にガムテープなどを貼って、早めに点灯させ てから撮影すると良いでしょう。なお、夜の撮影は手ブレレやすいので必ず 三脚を使用しましょう。











その3 ビフォー&アフターは必ず同じ構図で撮影

ビフォー&アフターの場合は同じ構図で撮影することが重要です。別の角度 から撮影すると、変化が分かりにくくなってしまいます。同じ角度で撮影す れば、「こんなに変わった」というのが、よく伝わります。そのことを考えて、 着工前にいろいろな角度から沢山撮影しておきましょう。



ビフォー



その4 全景と一番のセールスポイントをセットで撮影

同じアングルの写真ばかりだと、「確かにここは良いが、ここ以外他のところは何もしていないのでは?」と思われてしまうので、全景が良く分かる写真と1番のセールスポイントをセットで撮りましょう。

また、写真は色々な方向から沢山撮影し、その中からベストだと思われるものを応募することをお勧めします。





ヤールスポイント

その5【アプローチに変化をつける】

最近は、狭小地が多くなっているので、アプローチをシンプルに真っすぐに とる傾向があります。そういった単調になりがちな、アプローチに少し変化 を付けるだけで印象が変わってきます。例えば、門を正面に構えないで、あ えて横に90度に設け、回り込んで門に入っていくようなデザイン処理をす ると、狭小地であっても、非常に奥行き感が出て、見応えのあるプランにな るでしょう。



事例 1



事例 2

その6【植栽と化粧砂利を効果的に活用】

壁と床の境目や敷石と敷石の境目を隙間なく繋げるのではなく、少し隙間をあけ、そこに植物を入れると良いでしょう。植物で埋めきれない場合は、地面を覆うように化粧砂利を上手く敷いて、ポイントで植物を入れると効果的です。



事例



事例 2

